

殿

# 骨材試験報告書

平成 年 月 日

工事名 \_\_\_\_\_

工事場所 \_\_\_\_\_

製品名 \_\_\_\_\_

福井市志比口3丁目2番14号 はさきビル2階

久米田砕石株式会社





## 骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	久米田砕石株式会社	
	所在地	福井県福井市志比口3丁目2番14号	
申依頼 請事者 項	試料採取日	平成31年2月20日	
	試料採取場所	骨材堆積場	
	試料採取者	今村 嘉孝	
試料搬入日		平成31年2月20日	
試験日		平成31年2月21日	～ 平成31年3月27日

試験体種類		産地
粗骨材	4号砕石 (S-30)	福井県坂井市丸岡町上久米田37字

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	7.96
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	—
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.57
		実積率 %	59.0
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	—
密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表乾密度 g/cm <sup>3</sup>	2.69
		絶乾密度 g/cm <sup>3</sup>	2.66
		吸水率 %	1.15
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	13.5
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	2.2
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.04
骨材中の塩化物量試験	JIS A 5002	塩化物含有率 %	—
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	—
技術管理者		煤田 直也	
試験担当者		玉村 慶三	

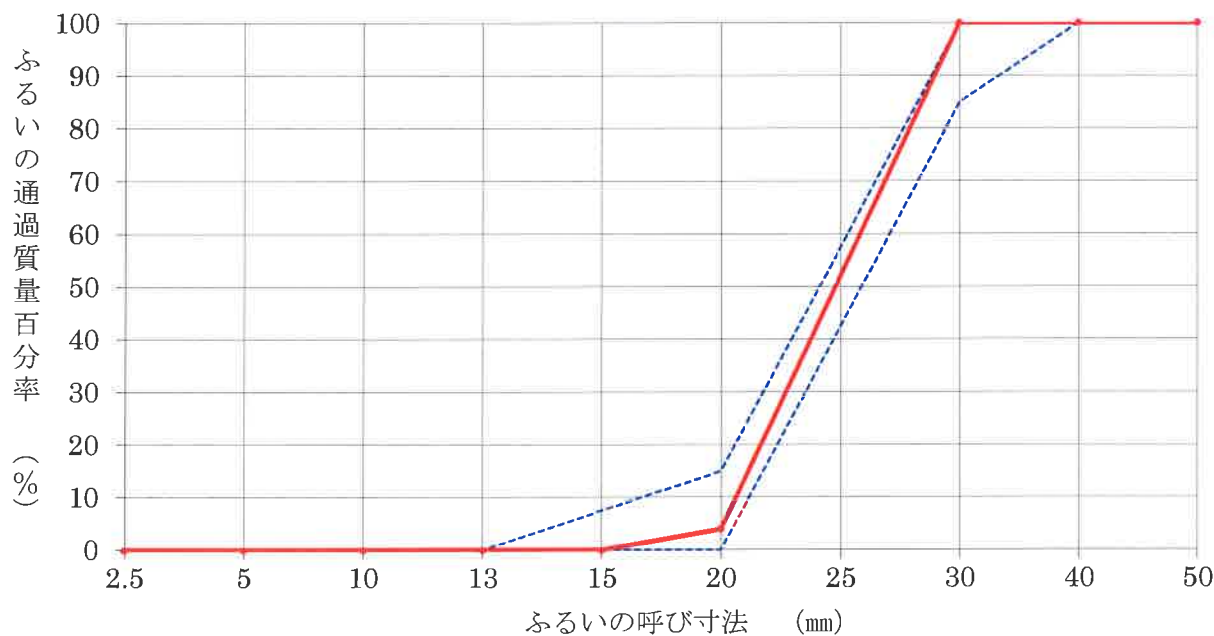
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験（粗骨材）

試験担当者： 玉村 慶三

試験日	平成 31 年 2 月 28 日			
試料	種類	4号砕石 (S-30)	最大寸法	25 mm
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採取日	平成 31 年 2 月 20 日		
	採取場所	骨材堆積場		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	6599	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間ににとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間ににとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
50	0	0	0	100
40	0	0	0	100
(30)	0	0	0	100
(25)	404	6	6	94
20	5919	90	96	4
(15)	248	4	100	0
(13)	10	0	100	0
10	4	0	100	0
5	2	0	100	0
2.5	1	0	100	0
受け皿	10	0	100	0
合計	6598	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.02	粗粒率	7.96	

粒度曲線図



試験規格 JIS A 1104

## 骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 玉村 慶三

試験日			平成 31 年 3 月 13 日	
試料	種類	4号砕石 (S-30)		
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採取日	平成 31 年 2 月 20 日		
	採取場所	骨材堆積場		
試験回数			1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	(1)	6.700	6.700
	容器の容積 (l)	V	9.953	9.953
	(容器+試料)の質量 (kg)	(2)	22.277	22.298
	試料の質量 = (2)-(1) (kg)	$m_1$	15.577	15.598
	単位容積質量 = $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.57	1.57
	2回の試験の平均値 (kg/l)	$\bar{T}$	1.57	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実積率	試料の絶乾密度 (g/cm <sup>3</sup> )	$d_D$	2.66	
	実積率 = $\frac{\bar{T}}{d_D} \times 100$ (%)	G	59.0	

試験規格 JIS A 1110

## 粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者：玉村 慶三

試験日			平成 31 年 3 月 8 日	
試料	種類	4号砕石 (S-30)		
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採取日	平成 31 年 2 月 20 日		
	採取場所	骨材堆積場		
試験回数			1	2
表乾密度	表乾状態の試料の質量 (g)	$m_1$	3553.7	3595.7
	試料とかごの水中の見掛けの質量 (g)	$m_2$	2633.3	2659.7
	金網かごの水中質量 (g)	$m_3$	396.6	396.6
	試験温度における水の密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	$\rho_w$	試験水の温度 20 °C 0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_1 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	$D_s$	2.69	2.69
	2回の試験の平均値 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	$\bar{D}_s$	2.69	
	平均値からの差 (規格値:0.01 $\text{g}/\text{cm}^3$ 以下)		0.00	
絶乾密度	絶乾状態の試料の質量 (g)	$m_4$	3513.3	3555.2
	絶乾密度 = $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	$D_d$	2.66	2.66
	2回の試験の平均値 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	$\bar{D}_d$	2.66	
	平均値からの差 (規格値:0.01 $\text{g}/\text{cm}^3$ 以下)		0.00	
吸水率	吸水率 = $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	$Q$	1.15	1.14
	2回の試験の平均値 (%)	$\bar{Q}$	1.15	
	平均値からの差 (規格値:0.03%以下)		0.01	

水の温度と密度					
温度 (°C)	密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	温度 (°C)	密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )	温度 (°C)	密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ )
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—

試験規格 JIS A 1121

### ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

試験担当者： 玉村 慶三

試験日		平成 31 年 3 月 20 日					
試料		種類		4号砕石 (S-30)			
		産地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字			
		採取日		平成 31 年 2 月 20 日			
		採取場所		骨材堆積場			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		粒度区分	球の数	回転数	試験前の 各群の質量 (g)
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
(mm)	(mm)	質量 (g)	質量百分率 (%)	A~G	6~12	500または1000	m <sub>1</sub>
2.5	—	10	0				
5	2.5	1	0				
10	5	2	0				
15	10	14	0				
20	15	248	4				
25	20	5919	90				5000
40	25	404	6				5000
50	40	0	0				
60	50	—	—				
80	60	—	—				
合計		6598	100	G	12	1000	10000
試験後1.7mmふるいに 残った試料の質量		(g)	m <sub>2</sub>	8646			
すりへり損失質量		m <sub>1</sub> - m <sub>2</sub> (g)		1354			
すりへり減量		$= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)		13.5			

試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（粗骨材）

試験担当者： 玉村 慶三

粗 骨 材							
試 験 日		平成 31 年 3 月 27 日					
試 料	種 類		4号砕石 (S-30)				
	産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字				
	採 取 日		平成 31 年 2 月 20 日				
	採 取 場 所		骨材堆積場				
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量	試験後の 各群の質量	各群の損失 質量分率 $(1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$	骨材の損失 質量分率 $\frac{\textcircled{1} \times P_1}{100}$
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
		質量	①質量分率	(g)	(g)	(%)	
(mm)	(mm)	(g)	(%)	$m_1$	$m_2$	$P_1$	(%)
10	5	2	0	—	—	2.1	0.0
15	10	14	0	—	—	2.1	0.0
20	15	248	4	—	—	2.1	0.1
25	20	5919	90	1015	994	2.1	1.9
40	25	404	6	1527	1481	3.0	0.2
60	40	0	0	—	—	—	—
合 計		6587	100	—	—	—	2.2

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。



試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者： 玉村 慶三

粗 骨 材		
試 験 日	平成 31 年 3 月 25 日	
試 料	種 類	4号碎石 (S-30)
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字
	採 取 日	平成 31 年 2 月 20 日
	採 取 場 所	骨材堆積場
試験前の試料の乾燥質量 (g)	$m_{D1}$	5233
試験後の試料の乾燥質量 (g)	$m_{D2}$	5231
粘土塊量 = $\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$ (%)	C	0.04

注) 試験の回数は1試料につき1回とする。ただし、最初の試験で粘土塊量が1.0%を超える場合は再度試験を行う。

